

1. はじめに
 - 1.1 COINCOME プロジェクトの背景と目的
 - 1.2 CIM トークンの位置づけとエコシステムにおける重要性
 - 1.3 COINCOME の事業概要と実績
 - 1.4 Web3 時代における COINCOME の役割
2. CIM トークンの概要
 - 2.1 トークンの基本情報と特徴
 - 2.2 トークンの活用シナリオと将来性
 - 2.3 トークンエコノミーとインセンティブ設計
 - 2.4 過去の上場履歴と FTX 事件の影響
3. 市場分析
 - 3.1 キャッシュバック市場の現状と課題
 - 3.2 Web3 がもたらすキャッシュバック市場の変革
 - 3.3 COINCOME の市場機会と競合優位性
4. COINCOME エコシステム
 - 4.1 COINCOME プラットフォームの特徴と機能
 - 4.2 ステークホルダーの役割とベネフィット
 - 4.3 パートナーシップ戦略とエコシステムの拡大
 - 4.4 ユーザー基盤の強みとデジタル ID の活用
5. ビジネスモデル
 - 5.1 収益構造と経済的サステナビリティ
 - 5.2 ユーザー増加と CIM トークンの価値向上の関係性
 - 5.3 取引所との連携による流動性の強化
 - 5.4 グローバル展開戦略と WEB3 市場の開拓
6. トークンの再発行と FTX 事件からの復興
 - 6.1 再発行の目的と方法
 - 6.2 新トークンのセキュリティとガバナンス
 - 6.3 移行プロセスとユーザー保護
 - 6.4 被害者への補償と支援策
7. 技術アーキテクチャ
 - 7.1 プラットフォームの技術スタックとセキュリティ
 - 7.2 スマートコントラクトとオラクルの活用

7.3 オフチェーンとオンチェーンのデータ連携

7.4 将来的な拡張性と互換性

8. ロードマップ

8.1 2024 年 - 新トークンの再発行と STS

8.2 2025 年 - COINCOME プラットフォームの機能強化

8.3 2025 年 - 取引所との連携強化とグローバル展開

8.4 2026 年 - デジタル ID 基盤の構築と DeFi サービスの提供

8.5 2026 年 - Web3 エコシステムとの統合

8.6 2027 年以降 - 独自ブロックチェーンの開発と DAO 化の実現

9. トークンセール

9.1 セールの目的と概要

9.2 調達資金の使途と配分

9.3 セール日程と STS 情報

9.4 参加方法と KYC/AML プロセス

9.5 ロックアップ条件とトークン配布スケジュール

10. チームとアドバイザー

10.1 コアメンバーの紹介と経歴

10.2 アドバイザリーボードの役割と専門性

10.3 チームの強みとプロジェクトへのコミットメント

10.4 ガバナンス体制とリスク管理方針

11. 主要なリスク要因

11.1 規制環境の変化とコンプライアンスリスク

11.2 競合他社の参入と市場リスク

11.3 技術的脆弱性とセキュリティリスク

11.4 流動性とボラティリティのリスク

12. 免責事項

12.1 投資リスクと自己責任原則

12.2 将来見通しに関する不確実性

12.3 法的免責事項と投資家保護

13. 結論

13.1 COINCOME の長期ビジョンと社会的意義

13.2 プロジェクトの実現可能性と将来性

13.3 ステークホルダーへの期待とメッセージ

13.4 問い合わせ先と追加情報の入手方法

1.1 COINCOME プロジェクトの背景と目的

COINCOME プロジェクトは、ブロックチェーン技術とトークンエコノミーの力を活用し、キャッシュバックエコシステムに革新をもたらすことを目的としています。既存のキャッシュバック市場は、中央集権的なシステムに依存しており、データの所有権や報酬の分配における不透明性、高い手数料、グローバル展開の難しさなど、多くの課題を抱えています。

COINCOME は、これらの課題を解決し、より公平で透明性の高い、ユーザー中心のキャッシュバックエコシステムを構築することを目指しています。ブロックチェーン技術を活用することで、データの所有権をユーザーに取り戻し、報酬の分配を自動化・最適化します。また、独自のトークンエコノミーを設計することで、エコシステム内の価値の流れを円滑にし、全てのステークホルダーにインセンティブを提供します。

COINCOME の究極的な目標は、キャッシュバックという枠組みを超えて、Web3 時代の経済圏を創造することです。私たちは、ユーザーと企業が直接つながり、価値を共創する新しい経済のあり方を提案します。COINCOME は、その実現に向けた第一歩であり、世界中の人々がより豊かで自由な経済活動を営むためのインフラとなることを目指しています。

1.2 CIM トークンの位置づけとエコシステムにおける重要性

CIM トークンは、COINCOME エコシステムの中核を成す存在であり、プラットフォーム内の価値の流れを円滑にする重要な役割を果たします。CIM トークンは、ERC-20 規格に準拠したユーティリティトークンで、以下のような機能を有しています：

- キャッシュバック報酬の付与と流通
- ステーキングによる追加報酬の獲得
- エコシステムガバナンスへの参加権
- プラットフォーム内の支払い手段

CIM トークンは、ユーザーの行動に経済的インセンティブを与え、エコシステムへの貢献を促進します。また、トークンの価値は、COINCOME プラットフォームの成長とともに向上することが期待されます。

COINCOME では、CIM トークンの再発行とエコシステムの再構築に注力しています。新たに発行される CIM トークンは、セキュリティとガバナンスの強化を図り、より信頼性の高いものとなります。また、FTX 事件で被害を受けたユーザーへの補償も実施し、エコシステムの再生と発展に努めます。

1.3 COINCOME の事業概要と実績



COINCOME は着実な成長を遂げており、現在では月間アクティブユーザー数(MAU)約 100,000 人、月間ページビュー(PV)約 1,300,000、累計キャッシュバック総額が 4 億円を誇るサービスに成長しました。

COINCOME の強みは、ユーザーファーストの姿勢と、強力なパートナーシップネットワークにあります。大手ゲームデベロッパー、金融サービス事業者、EC サイトや小売業者との提携により、ユーザーに魅力的なキャッシュバック機会を提供しています。また、ブロックチェーンや Web3 の分野で豊富な経験を持つメンバーを擁し、技術的な優位性を持っています。

私たちは、キャッシュバックサービス事業で得た知見とノウハウを活かし、COINCOME プロジェクトを通じて Web3 時代のキャッシュバックエコシステムを構築していきます。

1.4 Web3 時代における COINCOME の役割

Web3 は、ブロックチェーン技術を基盤とした、分散化・透明性・信頼性を備えた次世代のインターネットを指します。Web3 時代では、ユーザーが自らのデータを所有し、価値の流れが分散化されます。また、スマートコントラクトにより、取引の自動化と透明性が確保されます。

COINCOME は、Web3 の理念を体現し、キャッシュバックエコシステムを Web3 へと移行させる先駆者となります。私たちは、ブロックチェーン技術を活用して、これまでの中央集権的なキャッシュバックシステムが抱える問題を解決し、ユーザーと企業の直接的な価値交換を実現します。

COINCOME プラットフォーム上では、ユーザーのデータは、ブロックチェーン上で暗号化・分散化され、ユーザー自身が管理できるようになります。企業は、ユーザーの同意の下でデータを活用し、適切な報酬を提供します。これにより、データの所有権と報酬の分配における公平性と透明性が担保されます。

また、COINCOME は、Web3 ならではのトークンエコノミーを設計し、エコシステム内の価値の流れを最適化します。CIM トークンを介して、ユーザーと企業の間で価値が交換され、エコシステムの成長に貢献した全てのステークホルダーが報酬を得られる仕組みを構築します。

COINCOME が目指すのは、単なるキャッシュバックの効率化ではありません。私たちのミッションは、Web3 の力を活用して、ユーザーを中心とした新しい経済圏を創造することです。COINCOME は、その実現に向けた重要なインフラとして、Web3 時代をリードしていきます。

2. CIM トークンの概要

2.1 トークンの基本情報と特徴

CIM トークンは、COINCOME エコシステムのネイティブトークンであり、プラットフォーム内の様々な機能で活用されます。トークンの主な特徴は以下の通りです：

トークンの種類：ERC20 準拠のユーティリティトークン

発行枚数：100 億枚（当初予定の 250 億枚から変更）

主要な分散型取引所（CEX）での取引を予定

主要な分散型取引所（DEX）での取引を予定

CIM トークンの発行枚数を 250 億枚から 100 億枚に減らしたことで、トークンの希少性が高まり、長期的な価値の上昇が期待できます。

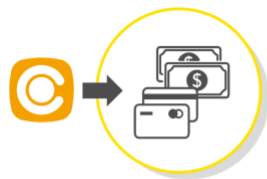
CIM トークンは、COINCOME プラットフォームの成長と価値創造に不可欠な存在です。トークンの供給量は有限であり、エコシステムの拡大とともに希少性が高まることが期待されます。

2.2 トークンの活用シナリオと将来性

CIM トークンは、COINCOME エコシステム内で多様な活用が可能です。主なシナリオは以下の通りです：



- a. キャッシュバック報酬の付与：ユーザーは、COINCOME プラットフォーム上でのアクションや、提携先でのショッピングに対して、CIM トークンをキャッシュバック報酬として受け取ります。
- b. ステーキングによる passive income：CIM トークン保有者は、トークンをステーキング（ロックアップ）することで、追加の報酬を獲得できます。これにより、長期的な保有が奨励され、エコシステムの安定性が高まります。
- c. ガバナンスへの参加：CIM トークン保有者は、COINCOME のエコシステム運営における意思決定に参加する権利を持ちます。重要な事項の議決に関与し、プロジェクトの方向性を共に決定します。
- d. プラットフォーム内の支払い手段：CIM トークンは、COINCOME プラットフォーム内における支払いに使用できます。ユーザー間の送金や、提携先サービスの利用などに活用されます。



電子マネー・カードへチャージ



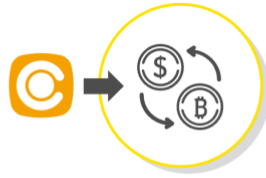
ポイント・ギフトへの交換



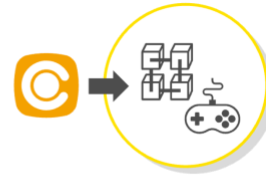
個人間での送受信



プロジェクトへの参加



仮想通貨・FX取引



ブロックチェーンゲームで利用



e. DeFi サービスとの連携：将来的には、CIM トークンを担保とした DeFi（分散型金融）サービスの利用も想定されます。ローンの取得や、流動性供給による利率獲得など、トークンの活用の幅が広がります。

f. NFT との連動：COINCOME は、NFT（非代替性トークン）との連携も視野に入れています。CIM トークンを使用した NFT の購入や、NFT 保有者への特別報酬の提供などが検討されています。

これらの活用シナリオを通じて、CIM トークンの実需要が創出され、エコシステムの持続的な成長が促進されます。また、将来的には COINCOME の独自ブロックチェーンへの移行も計画されており、CIM トークンは新たなチェーン上でのガス代やステーキング報酬としても機能します。

CIM トークンは、COINCOME のビジョンを実現する上で欠かせない存在であり、その将来性は非常に有望視されています。トークンの活用シーンが拡大するにつれ、CIM トークンの価値も向上していくことが期待されます。

2.3 トークンエコノミーとインセンティブ設計

COINCOME は、トークンエコノミーを通じて、エコシステム内のステークホルダーにインセンティブを提供し、持続的な価値創造を目指します。CIM トークンのエコノミーは、以下のような設計思想に基づいています：

- a. 有限供給：CIM トークンの総供給量は固定されており、新規発行はありません。これにより、トークンの希少性が担保され、長期的な価値の上昇が期待されます。
- b. キャッシュバック報酬としての分配：CIM トークンは、キャッシュバック報酬として、COINCOME プラットフォームの利用に応じてユーザーに分配されます。これにより、ユーザーのエンゲージメントが高まり、エコシステムの拡大が促進されます。
- c. ステーキングによるインセンティブ：CIM トークン保有者は、トークンをステーキングすることで追加の報酬を獲得できます。これにより、トークンの長期保有が奨励され、エコシステムの安定性が高まります。
- d. ガバナンス参加の権利：CIM トークン保有者は、エコシステムのガバナンスに参加する権利を持ちます。保有量に応じた投票権が付与され、重要な意思決定に関与できます。これにより、ユーザーのエンゲージメントと、エコシステムの分散化が促進されます。
- e. 手数料の一部をバーンまたはステーキング報酬に：COINCOME プラットフォーム上での取引手数料の一部は、CIM トークンのバーンまたはステーキング報酬に充てられます。これにより、トークンの希少性が高まるとともに、ステーキング報酬の魅力が増します。
- f. 適応的な報酬調整：COINCOME は、エコシステムの成長段階に応じて、キャッシュバック報酬やステーキング報酬の割合を適応的に調整します。初期段階では報酬を高めにし、ユーザー獲得を加速します。エコシステムが成熟するにつれ、報酬を徐々に減らし、持続可能性を高めていきます。

これらのインセンティブ設計により、COINCOME は、ユーザー、提携企業、トークン保有者などのステークホルダーに対して、エコシステムの成長に貢献するモチベーションを与えます。また、トークンの需給バランスを適切にコントロールすることで、長期的な価値の安定性も追求します。

COINCOME のトークンエコノミーは、エコシステムの持続的な発展を支える重要な基盤です。私たちは、このエコノミーモデルを通じて、Web3 時代のキャッシュバックエコシステムに新しい価値を提供してまいります。

2.4 過去の上場履歴と FTX 事件の影響

CIM トークンは、2019 年 8 月に Liquid Global に上場しました。Liquid Global は、当時アジアを代表する大手暗号資産取引所の一つであり、CIM トークンの流動性と認知度の向上に大きく貢献しました。

その後、2022 年 3 月に Liquid Group が FTX に買収されたことで、CIM トークンの取引環境はさらに改善されました。FTX は世界有数の暗号資産取引所であり、その高い流動性と信頼性により、CIM トークンの取引量は大幅に増加しました。

しかし、2022 年 11 月に FTX が破綻したことで、CIM トークンは大きな打撃を受けることになります。FTX の破綻に伴い、CIM トークンの上場は廃止され、多くのユーザーがトークンを売買できず、引き出せない状況に陥りました。

この事態を受け、COINCOME チームは迅速に対応策を講じました。まず、新しい CIM トークンを再発行し、セキュリティとガバナンスの強化を図ることを決定しました。また、FTX でトークンを失ったユーザーに対しては、新トークンでの補償を行う方針を打ち出しました。

現在、COINCOME チームは、新しい CIM トークンの再発行に向けて準備を進めています。新トークンは、ERC-20 規格に準拠しつつ、セキュリティ監査の徹底やマルチシグウォレットの導入など、安全性の向上に注力しています。また、ガバナンスの分散化や、コミュニティの意見を反映する仕組みの導入なども予定しています。

新しい CIM トークンは、2024 年 Q3 に再発行され、その後、大手の取引所（CEX）での上場を目指します。DEX も活用することで、特定の中央集権型取引所に依存せず、より分散化された形でのトークンの流通が可能になります。

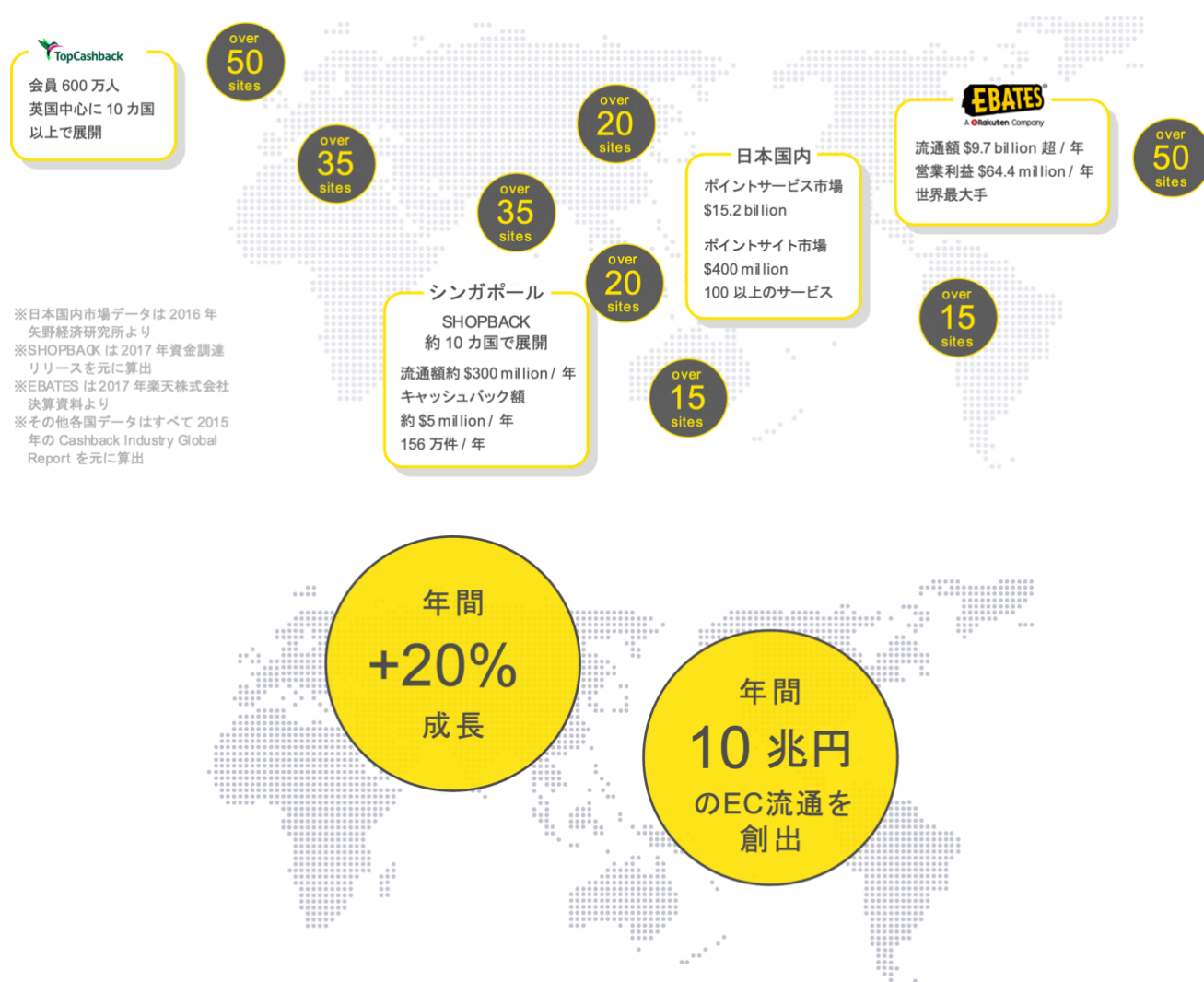
COINCOME チームは、FTX 事件の教訓を活かし、より強靱で信頼できるトークンエコノミーの構築に尽力します。新しい CIM トークンは、COINCOME エコシステムの再生と発展の象徴として、Web3 時代のキャッシュバックを牽引していきます。

3. 市場分析

3.1 キャッシュバック市場の現状と課題

キャッシュバック市場は、近年着実に成長を続けており、2021 年の世界市場規模は約 1,200 億米ドルに達しました。特に、e コマースの拡大と、消費者の節約志向の高まりを背景に、キャッシュバックサービスの利用者数は増加傾向にあります。

日本国内のキャッシュバック市場も、ポイントサービス市場の一部として拡大しています。2021 年の国内ポイントサービス市場規模は、約 1 兆 7,000 億円に上ると推計されており、大手 EC サイトや小売業者を中心に、キャッシュバックサービスが広く普及しています。



しかし、現在のキャッシュバック市場には、以下のような課題が存在します：

- a. 不透明性：キャッシュバックの条件や付与までのプロセスが不明瞭で、ユーザーにとって分かりにくい場合があります。
- b. 高い手数料：キャッシュバックサービス運営のためのコストが、高い手数料としてユーザーや提携企業に転嫁されることがあります。
- c. データの集中管理：ユーザーの購買データが、キャッシュバックサービス運営者に集中して管理されており、プライバシー面での懸念があります。
- d. グローバル展開の難しさ：各国の規制の違いや、為替レートの変動などにより、キャッシュバックサービスのグローバルな展開が困難です。

これらの課題を解決し、より透明性が高く、ユーザー中心のキャッシュバックエコシステムを構築することが、業界の持続的な成長のために不可欠となっています。

3.2 Web3 がもたらすキャッシュバック市場の変革

Web3 技術、特にブロックチェーンとトークンエコノミーの導入は、キャッシュバック市場に大きな変革をもたらす可能性を秘めています。Web3 がキャッシュバック市場にもたらす主なメリットは以下の通りです：

- a. 透明性の向上：ブロックチェーン上で取引データを記録することで、キャッシュバックの条件や付与状況が誰でも確認できるようになり、透明性が高まります。
- b. 中間コストの削減：ブロックチェーンとスマートコントラクトを活用することで、キャッシュバックサービス運営に関わる中間コストを削減でき、ユーザーにより多くの恩恵を提供できます。
- c. データの分散管理：ユーザーの購買データをブロックチェーン上で分散管理することで、プライバシー保護とデータの安全性が向上します。
- d. グローバルな相互運用性：トークンを介することで、国境を越えたシームレスなキャッシュバックエコシステムの構築が可能になります。
- e. トークンエコノミーの活用：キャッシュバックサービスのネイティブトークンを発行し、ステークホルダーにインセンティブを提供することで、エコシステムの持続的な成長を促進できます。

これらのメリットを活かすことで、Web3 時代のキャッシュバック市場は、より透明性が高く、ユーザー中心のエコシステムへと進化していくことが期待されます。

3.3 COINCOME の市場機会と競合優位性

COINCOME は、Web3 技術を活用してキャッシュバック市場の課題を解決することで、大きな市場機会を見出しています。

第一に、COINCOME は、ブロックチェーンとスマートコントラクトの導入により、透明性と信頼性の高いキャッシュバックサービスを提供します。これにより、ユーザーのサービスに対する満足度と利用率の向上が期待できます。

第二に、COINCOME のトークンエコノミーモデルは、ユーザーと提携企業に魅力的なインセンティブを提供します。ユーザーは CIM トークンを通じてエコシステムの成長から利益を得られ、提携企業はマーケティング効果の向上や、ユーザーとの関係性強化が可能になります。

第三に、COINCOME は、グローバル市場への展開を視野に入れています。トークンを介することで、国境を越えたシームレスなキャッシュバックエコシステムを構築し、世界中のユーザーと提携企業をつなぐことができます。

COINCOME の競合優位性は、以下の点にあります：

- a. 独自のブロックチェーン技術：COINCOME は、高い透明性と信頼性を実現する独自のブロックチェーン技術を開発しています。
- b. ユーザー中心の設計思想：COINCOME は、ユーザーの利便性と満足度を最優先に考え、直感的で使いやすいプラットフォームを提供します。
- c. 強力なパートナーシップ：COINCOME は、E コマース企業や大手小売業者など、様々な業界のキープレイヤーとの提携を進めています。
- d. 実績と専門性：COINCOME チームは、キャッシュバック事業とブロックチェーン技術の両方で豊富な実績と専門知識を持っています。

COINCOME は、これらの強みを活かし、キャッシュバック市場に革新をもたらすとともに、Web3 時代の経済圏の創造に貢献していきます。

4. COINCOME エコシステム

4.1 COINCOME プラットフォームの特徴と機能

COINCOME プラットフォームは、ブロックチェーン技術とトークンエコノミーを活用し、透明性と信頼性の高いキャッシュバックサービスを提供します。プラットフォームの主な特徴と機能は以下の通りです：

- a. 直感的なユーザーインターフェース：COINCOME は、ユーザーが簡単にキャッシュバックを獲得し、CIM トークンを管理できるよう、分かりやすく使いやすいインターフェースを提供します。
- b. ブロックチェーンベースのキャッシュバックトラッキング：購買データをブロックチェーン上に記録することで、キャッシュバックの付与状況を透明化し、ユーザーと提携企業の信頼関係を強化します。
- c. スマートコントラクトによる自動化：キャッシュバック報酬の計算や分配をスマートコントラクトで自動化することで、公平性を確保し、手続きの効率化を図ります。
- d. CIM トークンの多様な活用：CIM トークンは、キャッシュバック報酬や、プラットフォーム内の様々な機能で活用されます。例えば、トークンをステーキングすることで追加の報酬を獲得したり、エコシステムのガバナンスに参加したりできます。
- e. セキュアなウォレット機能：COINCOME は、ユーザーが CIM トークンを安全に保管し、送受金できるウォレット機能を提供します。
- f. 多彩なキャッシュバック機会：提携企業とのパートナーシップにより、ユーザーは様々な商品やサービスの購入でキャッシュバックを獲得できます。
- g. データの暗号化と分散管理：ユーザーのプライバシーを保護するため、購買データは暗号化され、分散型ネットワーク上で管理されます。
- h. 将来的な機能拡張：COINCOME は、NFT や DeFi との連携など、新たな機能の追加により、プラットフォームの価値を継続的に高めていきます。

これらの特徴と機能により、COINCOME プラットフォームは、既存のキャッシュバックサービスとは一線を画す、革新的なサービスを提供します。Web3 時代のキャッシュバックインフラとして、ユーザーと提携企業に新たな価値をもたらすことを目指します。

4.2 ステークホルダーの役割とベネフィット

COINCOME エコシステムには、ユーザー、提携企業、トークン保有者など、様々なステークホルダーが存在します。それぞれのステークホルダーは、エコシステムの中で重要な役割を果たし、COINCOME の成長に貢献します。

a. ユーザー

- 役割：COINCOME プラットフォームを利用し、提携企業での購買やアクションを通じてキャッシュバック報酬を獲得する。
- ベネフィット：お得なキャッシュバックを受け取ることができる。CIM トークンを保有することで、ステーキング報酬やガバナンス参加の権利を得られる。

b. 提携企業

- 役割：自社の商品やサービスを COINCOME プラットフォームで提供し、ユーザーにキャッシュバック報酬を付与する。
- ベネフィット：COINCOME を通じて、新規顧客の獲得と既存顧客の満足度向上が期待できる。CIM トークンを活用した独自のマーケティング施策を実施できる。

c. トークン保有者

- 役割：CIM トークンを保有し、ステーキングやガバナンス参加を通じてエコシステムの発展に寄与する。
- ベネフィット：ステーキングによる追加の報酬を獲得できる。エコシステムの成長に伴うトークン価値の上昇が期待できる。

d. 開発者

- 役割：COINCOME プラットフォームや関連する dApps の開発に携わり、エコシステムの技術的な発展を支える。
- ベネフィット：COINCOME エコシステム内での開発案件を受注できる。CIM トークンを報酬として受け取ることができる。

e. コミュニティメンバー

- 役割：COINCOME のコミュニティ活動に参加し、プロジェクトの認知度向上や情報共有に貢献する。
- ベネフィット：コミュニティ活動への貢献に対して、CIM トークンを報酬として受け取れる。また、コミュニティ内での交流を通じて、有益な情報を得られる。

COINCOME は、これらのステークホルダーの相互作用により、エコシステムの持続的な発展を実現します。それぞれのステークホルダーに明確な役割とベネフィットを提示し、共にエコシステムの価値創造に取り組んでいきます。

4.3 パートナーシップ戦略とエコシステムの拡大

COINCOME は、戦略的なパートナーシップの構築を通じて、エコシステムの拡大と価値向上を目指します。主なパートナーシップ戦略は以下の通りです：

- a. 提携企業の拡大：COINCOME は、E コマース、旅行、金融サービスなど、様々な業界のリーディングカンパニーとのパートナーシップを積極的に進めます。これにより、ユーザーに多様なキャッシュバック機会を提供し、エコシステムの魅力を高めます。
- b. 共同マーケティングの実施：提携企業と協力し、共同マーケティングキャンペーンを実施します。CIM トークンを活用した特別なキャッシュバックプログラムや、NFT を活用したプロモーションなどを企画し、両社のユーザー基盤の相互送客とブランド認知度の向上を図ります。
- c. 技術的な連携：COINCOME のブロックチェーン技術やスマートコントラクトのノウハウを提携企業に提供し、共同でイノベティブなサービスの開発を行います。例えば、CIM トークンを活用した決済システムやロイヤルティプログラムの構築などが考えられます。
- d. Web3 エコシステムとの連携（Avalanche、Internet Computer、Ethereum などを用意）：COINCOME は、他の Web3 プロジェクトとの連携も積極的に進めます。DeFi プロトコルとの提携により CIM トークンの活用シーンを拡大したり、NFT マーケットプレイスとの連携によりユーザーの資産価値の向上を図ったりします。
- e. グローバルパートナーの開拓：COINCOME は、グローバル市場での事業拡大を視野に入れ、海外の有力企業とのパートナーシップ構築に取り組みます。現地のニーズに合わせたキャッシュバックサービスの提供や、クロスボーダーでの CIM トークンの活用を推進します。

これらのパートナーシップ戦略を通じて、COINCOME はエコシステムの価値を最大化し、ユーザーと提携企業に多大なメリットをもたらすことを目指します。Win-Win の関係を構築し、共に Web3 時代のキャッシュバックエコシステムを切り拓いていきます。

4.4 ユーザー基盤の強みとデジタル ID としての価値

COINCOME の大きな強みの一つは、Makers Farm が運営するキャッシュバックサービス「COINCOME」で培った、10 万人以上の強固なユーザー基盤です。月間アクティブユーザー数(MAU)約 100,000 人、月間ページビュー(PV)約 1,300,000 という実績は、COINCOME の価値提供がユーザーに受け入れられていることの証明です。

このユーザー基盤は、COINCOME エコシステムの拡大において大きな役割を果たします。既存ユーザーが COINCOME の利用を継続・拡大することで、エコシステム内の経済活動が活性化します。また、ユーザーの口コミや紹介により、新規ユーザーの獲得も加速します。COINCOME は、このユーザー基盤をテコに、より大規模なエコシステムの構築を目指します。

さらに、COINCOME のユーザー基盤は、デジタル ID としての価値も持っています。ブロックチェーン上でユーザーの購買履歴やアクティビティを記録することで、個人の信用力を可視化できます。この信用力は、金融サービスへのアクセスやパーソナライズされたサービスの提供など、様々な場面で活用可能です。

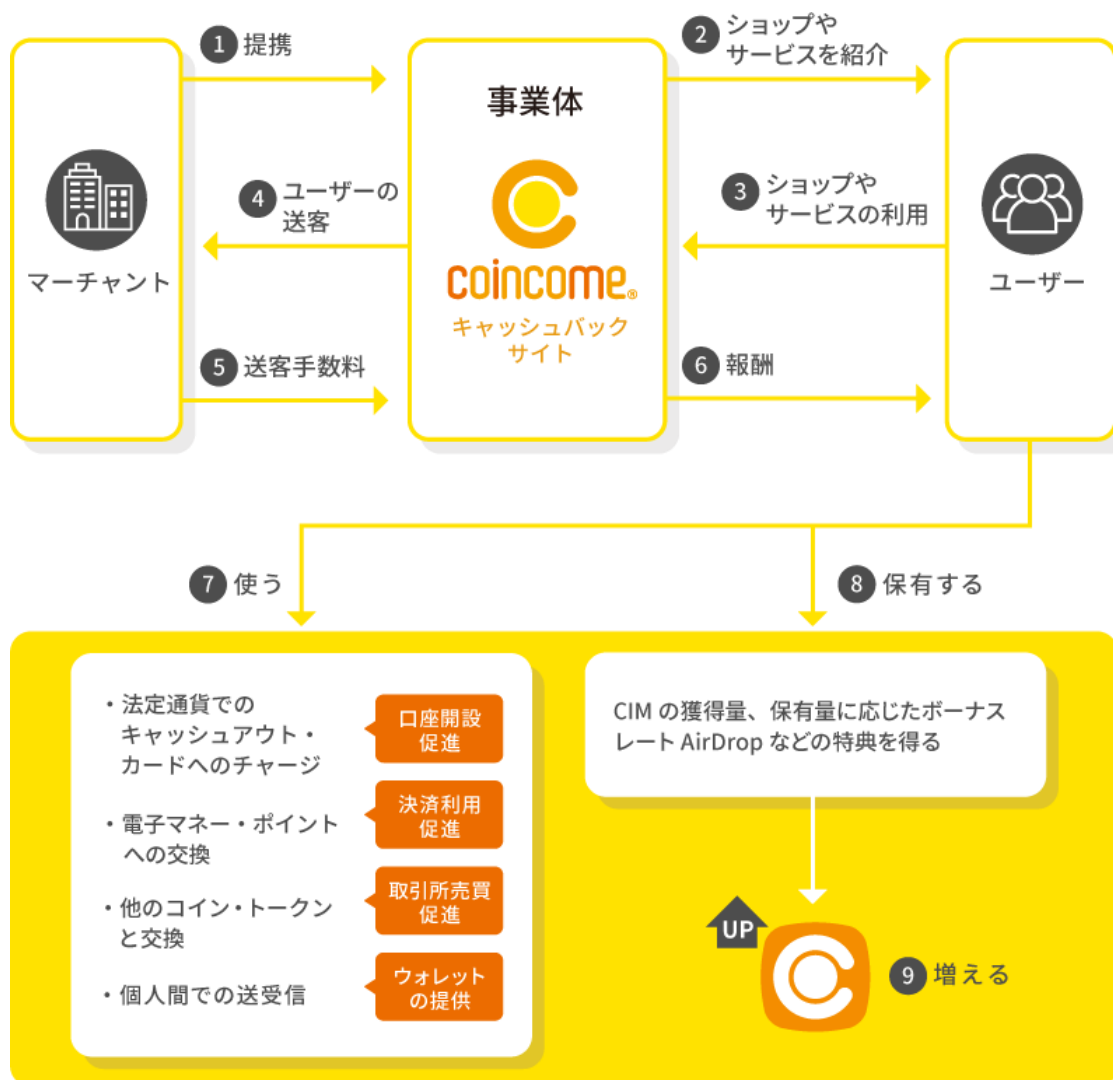
COINCOME は、このデジタル ID としての価値を最大限に引き出すため、以下のような取り組みを進めていきます：

- a. 取引所との連携：COINCOME は、大手の暗号資産取引所との連携を強化し、CIM トークンの流動性を高めます。これにより、ユーザーはより便利に CIM トークンを取引できるようになり、エコシステム全体の利便性が向上します。
- b. DeFi サービスとの統合：COINCOME は、ユーザーのデジタル ID を活用した DeFi サービスの提供を目指します。例えば、ユーザーの信用力に基づいた融資サービスや、トークン担保型の貸付サービスなどが考えられます。
- c. データの活用：COINCOME は、ユーザーの同意の下、購買履歴などのデータを分析し、パーソナライズされたキャッシュバックオファーや、ターゲティング広告の配信に活用します。これにより、ユーザーの利便性が高まるとともに、提携企業のマーケティング効果も向上します。

COINCOME は、強固なユーザー基盤とデジタル ID の活用により、他のプロジェクトとは一線を画す競争優位性を持っています。ユーザー一人ひとりに最適な価値を提供し、エコシステム全体の成長を加速させていきます。

5. ビジネスモデル

ネットショップやブランド、サービス提供元であるマーチャントと提携、ユーザーの送客に係る広告収益の一部をユーザーに CIM として還元します。



ユーザーは獲得した CIM を前述のさまざまな電子マネーやポイントに交換できる他、CIM が仮想通貨取引所に上場した後はその取引所を経由して他の仮想通貨や法定通貨に交換することも可能となります。なお、現在はウォレットに移行する前の CIM ポイントのみ交換可能となっており、各国・各リージョンごとに順次 CIM トークンの電子マネーやポイントへの交換機能も提供する予定です。

上記は COINCOME サービス内で採用している取引所のレートを目安に交換されます。

また、この電子マネーやポイントへの交換時における交換手数料も収益の一部となり、ユーザーへのボーナスなどに充当してまいります。

このようにキャッシュバックサービスのビジネスモデルはマーチャントにとって新規ユーザーの獲得、ならびに既存ユーザーの活性化に対して明確なメリットがあり、また主に成果報酬型のため費用対効果に関するリスクがないため、すでに多くのショップ、ブランド、サービスとの連携が進んでいる大きな理由となっております。

5.1 収益構造と経済的サステナビリティ

COINCOME のビジネスモデルは、キャッシュバックエコシステムの運営を通じて、持続的な収益を生み出すことを目指しています。主な収益源は以下の通りです：

- a. 提携企業からの手数料：COINCOME は、提携企業がプラットフォーム上でキャッシュバックを提供する際に、一定の手数料を受け取ります。この手数料は、キャッシュバック原資の一部として活用されます。
- b. トランザクション手数料：COINCOME プラットフォーム内で行われる CIM トークンのトランザクションには、一定の手数料が発生します。この手数料は、エコシステムの維持・発展のための資金として活用されます。
- c. マーケティング支援サービス：COINCOME は、提携企業に対して、マーケティング支援サービスを提供します。共同キャンペーンの企画・実施や、データ分析に基づくコンサルティングなどを通じて、収益を得ます。
- d. CIM トークンの価値上昇：COINCOME は、CIM トークンの一部を保有しています。エコシステムの成長に伴って CIM トークンの価値が上昇すれば、それが COINCOME の資産価値の増加につながります。

これらの収益源を確保しつつ、COINCOME は以下のような方策により、経済的サステナビリティを追求します：

- a. 手数料の最適化：提携企業からの手数料やトランザクション手数料は、市場の状況に応じて適切に設定します。エコシステムの成長を促進しつつ、COINCOME の収益性も維持できるよう、バランスを取ります。
- b. 効率的な運営体制：COINCOME は、リーンな組織体制とオートメーションの活用により、運営コストを最適化します。限られたリソースで最大限の成果を挙げることを目指します。
- c. 戦略的なトークン設計：CIM トークンのエコノミックスは、長期的な価値の維持と向上を念頭に設計されています。インフレ率のコントロールや、ステーキング報酬の最適化などにより、トークンの経済性を保ちます。
- d. 事業の多角化：COINCOME は、キャッシュバックサービスを中核としつつ、新たな事業の開拓にも取り組みます。DeFi サービスの提供や NFT の活用など、収益源の多様化を図ることで、経済的な安定性を高めます。

これらの取り組みを通じて、COINCOME は持続的な成長と収益性の確保を目指します。健全な経済モデルに基づくエコシステムの運営により、ステークホルダーに長期的な価値を提供し続けます。

5.2 ユーザー増加と CIM トークンの価値向上の関係性

COINCOME において、ユーザー数の増加と CIM トークンの価値向上は、密接に関連しています。その関係性は以下のように説明できます：

- a. ネットワーク効果：ユーザー数の増加は、COINCOME エコシステムの利便性と魅力を高めます。より多くの人々が COINCOME を利用するようになれば、提携企業も増え、キャッシュバック機会が拡大します。これにより、さらなるユーザーの流入が期待できる、ポジティブなネットワーク効果が生まれます。
- b. CIM トークンの需要増加：ユーザー数の増加は、CIM トークンの需要を直接的に高めます。より多くのユーザーがキャッシュバック報酬として CIM トークンを獲得し、プラットフォーム内で利用するようになります。これにより、CIM トークンの流動性と利便性が向上し、トークンの価値上昇につながります。
- c. ステーキングの活性化：ユーザー数の増加は、CIM トークンのステーキングを活性化させます。多くのユーザーが CIM トークンを長期的に保有し、ステーキングに参加するようになれば、トークンの流通量が減少し、希少性が高まります。これが、CIM トークンの価値を押し上げる要因となります。
- d. エコシステムの発展：ユーザー数の増加は、COINCOME エコシステム全体の発展を促進します。より活発なトランザクションが行われるようになり、新たなサービスやアプリケーションの開発が進みます。これにより、CIM トークンの利用価値が高まり、トークンの価値上昇が期待できます。
- e. ブランド価値の向上：ユーザー数の増加は、COINCOME のブランド価値の向上にもつながります。多くの人々に利用され、支持されるプロジェクトとしての認知度が高まれば、CIM トークンに対する信頼も厚くなります。これが、トークンの長期的な価値を支える基盤となります。

COINCOME は、これらの関係性を踏まえ、ユーザー数の拡大と CIM トークンの価値向上の好循環を生み出すことを目指します。魅力的なサービスの提供と、戦略的なマーケティングにより、積極的にユーザーの獲得に努めます。同時に、CIM トークンの経済性を適切にマネジメントし、トークンの長期的な価値を維持・向上させていきます。

ユーザー数の増加と CIM トークンの価値向上は、COINCOME エコシステムの持続的な成長を支える両輪です。この両者を強化し、バランスを取ることで、COINCOME はキャッシュバックエコシステムにおける確固たる地位を築いていきます。

5.3 取引所との連携による流動性の強化

COINCOME は、CIM トークンの流動性を高めるために、暗号資産取引所との連携を強化していきます。取引所上での CIM トークンの取引を活性化することで、ユーザーの利便性を高め、エコシステム全体の成長を促進します。

取引所との連携における主な取り組みは以下の通りです：

- a. 大手取引所への CIM トークン上場：COINCOME は、CIM トークンを大手の暗号資産取引所に上場することを目指します。Binance、Coinbase、Huobi など、グローバルに認知度の高い取引所での取引が可能になれば、CIM トークンの流動性は大きく向上します。
- b. 流動性マイニングプログラムの実施：COINCOME は、取引所と協力して、流動性マイニングプログラムを実施します。CIM トークンの取引量や流動性の提供量に応じて、報酬を付与することで、取引の活性化を図ります。
- c. 取引ペアの拡大：COINCOME は、CIM トークンと他の主要な暗号資産（ビットコイン、イーサリアムなど）との取引ペアを拡大していきます。多様な取引ペアを提供することで、ユーザーの利便性を高め、取引量の増加を目指します。
- d. DEX との連携：COINCOME は、分散型取引所（DEX）とも積極的に連携していきます。ユーザーがよりセキュアで自由に CIM トークンを取引できる環境を整備することで、エコシステムの分散化と透明性を高めます。
- e. マーケットメイキングの導入：COINCOME は、CIM トークンのマーケットメイキングを行うことで、取引の安定性を高めます。適切なスプレッドとオーダーブックの厚みを維持することで、価格の急激な変動を抑制し、ユーザーの信頼を獲得します。

これらの取り組みを通じて、COINCOME は CIM トークンの流動性を段階的に高めていきます。高い流動性は、ユーザーにとってのトークンの利便性を向上させるだけでなく、価格の安定性にも寄与します。また、流動性の向上は、機関投資家の参入を促し、CIM トークンの長期的な価値向上にもつながります。

COINCOME は、取引所との連携を通じて、CIM トークンのグローバルな流通基盤を強化していきます。これにより、COINCOME エコシステムのさらなる成長と、ユーザーに対する価値提供の最大化を目指します。

5.4 グローバル展開戦略と WEB3 市場の開拓

COINCOME は、日本国内にとどまらず、グローバル市場での事業展開を見据えています。CIM トークンを軸に、世界中のユーザーと提携企業を結ぶ、ボーダーレスなキャッシュバックエコシステムの構築を目指します。

グローバル展開における主な戦略は以下の通りです：

- a. 現地パートナーとの提携：COINCOME は、各国の有力企業と提携することで、現地市場への参入を加速します。E コマース企業、小売業者、サービスプロバイダーなど、幅広い業種のパートナーとの協業を通じて、ユーザーに魅力的なキャッシュバック機会を提供していきます。
- b. 多言語対応とローカライゼーション：COINCOME プラットフォームは、多言語に対応し、各国のユーザーが自国語で利用できるようにします。また、現地の文化や習慣に合わせたキャッシュバックプログラムの設計など、きめ細やかなローカライゼーションを行います。
- c. クロスボーダー決済の対応：COINCOME は、国境を越えたスムーズな決済を実現するために、クロスボーダー決済ソリューションを導入します。これにより、グローバルなユーザーと提携企業が、シームレスに CIM トークンを利用できるようになります。
- d. 現地の規制への対応：COINCOME は、各国の法規制を細かく分析し、適切に対応していきます。必要なライセンスの取得や、法的要件の充足を着実に進めることで、グローバルでのコンプライアンス体制を整備します。
- e. WEB3 市場の開拓：COINCOME は、グローバル展開を通じて、WEB3 市場の開拓にも注力します。ブロックチェーンや DeFi、NFT など、WEB3 の最新トレンドを取り入れ、革新的なキャッシュバックサービスを展開していきます。

これらの戦略を推進することで、COINCOME はグローバルな WEB3 市場における存在感を高めていきます。CIM トークンを基軸とした経済圏を世界規模で構築し、ユーザーと提携企業に新たな価値を提供し続けます。

また、グローバル展開は、CIM トークンの価値向上にも直結します。世界中で CIM トークンが利用されるようになれば、トークンの需要が高まり、価値の上昇が期待できます。COINCOME は、グローバルな流通量の拡大と、トークンの長期的な価値向上の両立を目指します。

COINCOME のグローバル展開は、キャッシュバックエコシステムの可能性を世界規模で示す挑戦です。日本発のプロジェクトとして、グローバルな WEB3 市場をリードしていくことを目指します。

6. トークンの再発行と FTX 事件からの復興

6.1 再発行の目的と方法

2022 年 11 月の FTX 破綻により、CIM トークンは大きな打撃を受けました。この困難を乗り越え、エコシステムの再生と発展を目指すため、COINCOME チームは CIM トークンの再発行を決断しました。再発行の主な目的は以下の通りです：

- a. FTX 破綻の影響の最小化：FTX 上に止まっているトークンを無効化し、ユーザーの資産を保護します。
- b. セキュリティの強化：新たな CIM トークンは、セキュリティ監査を徹底し、スマートコントラクトの脆弱性を排除します。
- c. ガバナンスの改善：トークンホルダーの権利を強化し、エコシステムの分散化を進めます。
- d. 新たな成長ステージへの移行：再発行を機に、COINCOME プロジェクトは新たな成長戦略を実行に移します。

再発行は、以下のようなプロセスで行われます：

- 1. スナップショットの取得：再発行前に、ユーザーのトークン保有状況のスナップショットを取得します。
- 2. 新トークンのデプロイ：新たな CIM トークンのスマートコントラクトをポリゴンネットワーク上にデプロイします。
- 3. トークンの交換：旧トークンを新トークンに 1:1 の比率で交換します。FTX 上のトークンは交換対象外となります。
- 4. 流動性の提供：主要な分散型取引所（DEX）において、新トークンの流動性を提供します。
- 5. ステータスプログラムの再開：新トークンでのステータスプログラムを速やかに再開し、エコシステムの活性化を図ります。

COINCOME チームは、再発行プロセスを通じて、ユーザーとの積極的なコミュニケーションを行い、透明性の高い情報開示に努めます。再発行後も、定期的な進捗報告や、コミュニティとの対話の場を設けることで、信頼の回復と維持に尽力します。

6.2 新トークンのセキュリティとガバナンス

再発行される新しい CIM トークンは、セキュリティとガバナンスの両面で大幅に強化されます。

セキュリティ面では、外部の専門機関によるスマートコントラクトの監査を徹底的に実施します。コードレビューやテストを繰り返し行うことで、潜在的な脆弱性を排除し、堅牢性を確保します。また、マルチシングウォレットの導入により、単一障害点を排除し、資産の安全性を高めます。

ガバナンス面では、トークンホルダーの権限を拡大し、エコシステムの分散化を推進します。重要な意思決定は、トークンホルダーの投票により行われるようになります。例えば、プロジェクトの方向性、パートナーシップ戦略、トークンエコノミーの変更など、コミュニティの意見が反映される仕組みを導入します。

また、ガバナンストークンとしての機能を強化するため、新トークンにはベスティング（時間差解放）が適用されます。チームやアドバイザーに割り当てられるトークンは、一定期間にわたって徐々に解放されるようにし、長期的なインセンティブ設計と、生態系の安定性の両立を図ります。

これらの取り組みにより、新しい CIM トークンは、セキュリティとガバナンスの面で業界をリードする存在を目指します。ユーザーと投資家の信頼に応え、長期的な価値創造を実現するための基盤を構築します。

6.3 移行プロセスとユーザー保護

CIM トークンの再発行に際して、COINCOME チームはユーザー保護を最優先事項と位置付けています。移行プロセスは、移行期間の告知、移行用ウェブサイトの開設、旧トークンと新トークンの交換、交換の確認、旧トークンの無効化などのステップで進められます。

移行プロセス全体を通じて、COINCOME チームは、ユーザーサポートの強化と、透明性の高い情報開示に努めます。

移行プロセスは、以下のようなステップで進められる予定です：

1. 移行期間の告知：再発行の実施日と、移行期間を十分に予告します。ユーザーが新トークンへの交換に備えられるよう、早期の告知を行います。
2. 移行用ウェブサイトの開設：専用の移行用ウェブサイトを開設し、ユーザーがスムーズに移行手続きを行えるようにします。

3. 移行の実施：ユーザーは、移行用ウェブサイトにおいて、旧トークンを新トークンに交換します。交換レートは 1:1 を予定しています。

4. 交換の確認：ユーザーは、自身のウォレットにおいて、新トークンが正しく付与されていることを確認します。

5. 旧トークンの無効化：移行期間終了後、旧トークンは無効化されます。これ以降、旧トークンでの取引は行えなくなります。

移行プロセス全体を通じて、COINCOME チームは、ユーザーサポートを強化します。専用のサポートチャンネルを設け、ユーザーの質問や懸念に丁寧に対応します。また、移行の進捗状況や、手続きの方法などについて、わかりやすいガイドや FAQ を提供し、ユーザーの利便性を高めます。

万が一、移行プロセスにおいてユーザーが損失を被った場合には、適切な補償を行う方針です。COINCOME チームは、ユーザー保護を何よりも重視し、誠実な対応を心がけます。

6.4 被害者への補償と支援策

FTX 破綻により CIM トークンを失ったユーザーに対しては、COINCOME チームは真摯に向き合い、可能な限りの支援と補償を行います。具体的には、被害状況の確認、新トークンでの補償、法的支援の提供などの施策を講じます。

具体的な支援策は以下の通りです：

1. 被害状況の確認：FTX 上で CIM トークンを保有していたユーザーを特定し、被害額を確認します。
2. 新トークンでの補償：被害額に応じて、新しい CIM トークンを補償として付与します。これにより、ユーザーの損失を最小限に抑えます。
3. 法的支援の提供：必要に応じて、被害者に法的支援を提供します。弁護士と連携し、被害回復のためのアドバイスやサポートを行います。

これらの支援策は、ユーザーとの個別の対話を通じて、きめ細やかに実施されます。COINCOME チームは、被害者一人ひとりに寄り添い、最善のサポートを提供することをお約束します。

また、補償プロセスの進捗状況については、継続的に情報を開示します。透明性を維持し、ユーザーの信頼を得られるよう努めます。

COINCOME は、FTX 事件からの教訓を真摯に受け止め、二度とこのような事態を引き起こさないために全力を尽くします。ユーザー保護と透明性の確保を最優先とし、エコシステムの再生と発展に取り組んでまいります。

7. 技術アーキテクチャ

7.1 プラットフォームの技術スタックとセキュリティ

COINCOME プラットフォームは、セキュリティ、スケーラビリティ、ユーザビリティを重視した技術スタックに基づいて構築されています。

バックエンドシステムには、Polygon ブロックチェーンを採用しています。Polygon は、スマートコントラクトの実行環境として広く普及しており、高い信頼性と互換性を誇ります。COINCOME は、Solidity 言語を用いてスマートコントラクトを開発し、プラットフォームのコア機能を実装しています。

フロントエンド開発には、React.js を用いています。React は、コンポーネントベースの UI を構築するための JavaScript ライブラリで、高いパフォーマンスと保守性を実現します。モバイルアプリケーションについては、React Native を使用し、iOS と Android の両プラットフォームに対応します。

インフラ面では、Amazon Web Services (AWS) を活用しています。AWS は、高い可用性と拡張性を提供するクラウドプラットフォームです。COINCOME は、EC2、S3、RDS などの AWS サービスを組み合わせることで、安定的かつスケーラブルなシステム運用を実現します。

セキュリティ対策としては、スマートコントラクトの徹底的な監査に加え、以下のような施策を実施しています：

- マルチシグウォレットの導入により、単一障害点を排除
- 定期的な脆弱性スキャンとペネトレーションテスト
- 二要素認証（2FA）の強制適用
- SSL/TLS による通信の暗号化
- WAF（Web Application Firewall）の導入によるアプリケーション層の防御

さらに、COINCOME では、セキュリティ意識の高い組織文化の醸成にも注力しています。全社的なセキュリティトレーニングの実施や、セキュリティインシデント対応計画の整備など、人的・組織的な対策も講じています。

7.2 スマートコントラクトとオラクルの活用

COINCOME プラットフォームの中核を成すのが、Polygon 上で動作するスマートコントラクトです。スマートコントラクトは、CIM トークンの発行や、キャッシュバックロジックの自動実行など、プラットフォームの重要な機能を担っています。

主要なスマートコントラクトは以下の通りです：

- CIMToken：CIM トークンの発行と管理を行う ERC20 準拠のコントラクト
- Cashback：ユーザーのアクションに基づいてキャッシュバックを計算・付与するコントラクト
- Staking：CIM トークンのステーキングとリワードの分配を管理するコントラクト
- Governance：コミュニティによるガバナンスの実行を可能にするコントラクト

これらのスマートコントラクトは、Solidity を用いて開発され、Polygon ネットワーク上にデプロイされます。コントラクトの開発にあたっては、OpenZeppelin などの定評あるライブラリを活用し、セキュリティと再利用性を高めています。

また、COINCOME では、チェーンリンクのようなオラクルサービスを活用することで、オフチェーンデータをスマートコントラクトに安全に連携させています。例えば、提携企業の API から取得した購買データをオラクルを介してキャッシュバックコントラクトに渡すことで、シームレスなキャッシュバック付与を実現します。

スマートコントラクトとオラクルの適切な活用により、COINCOME プラットフォームは、透明性の高い自動化されたサービスを提供します。信頼性と効率性を両立し、ユーザーに最適な価値を届けることを可能にします。

7.3 オフチェーンとオンチェーンのデータ連携

COINCOME プラットフォームでは、オフチェーン（ブロックチェーン外）のデータとオンチェーン（ブロックチェーン上）のデータを適切に連携させることが重要です。この連携により、スケーラビリティとデータの機密性を確保しつつ、ブロックチェーンの利点を最大限に活用します。

オフチェーンデータの例としては、以下のようなものがあります：

- ユーザーの個人情報（氏名、メールアドレスなど）
- 提携企業の製品情報や在庫データ
- ユーザーの行動履歴（ログイン、閲覧履歴など）

これらのデータは、AWS 上のデータベース（RDS など）に保存され、API を通じてアプリケーション層から参照されます。機密性の高いデータは、暗号化やアクセス制御により保護されます。

一方、オンチェーンデータの例は以下の通りです：

- CIM トークンの残高や転送履歴
- キャッシュバックの付与記録
- ステータスの状況やリワード履歴
- ガバナンスの投票結果

これらのデータは、スマートコントラクトの状態変数として、Polygon ブロックチェーン上に保存されます。ブロックチェーンの不変性により、データの改ざん耐性と透明性が担保されます。

オフチェーンとオンチェーンのデータ連携は、主にオラクルを介して行われます。例えば、ユーザーが EC サイトで商品を購入した際、その購買データはオフチェーンのデータベースに記録されます。その後、オラクルがそのデータを取得し、スマートコントラクトに引き渡すことで、キャッシュバックの付与がトリガーされます。

また、COINCOME では、IPFS（InterPlanetary File System）を活用することで、オフチェーンのストレージとブロックチェーンを連携させています。大容量のデータ（製品画像など）を IPFS 上に保存し、そのハッシュ値をスマートコントラクトに記録することで、データの整合性を担保しつつ、ストレージコストを抑制します。

オフチェーンとオンチェーンのデータを適切に連携させることで、COINCOME プラットフォームは、拡張性と信頼性を兼ね備えたサービスを提供します。ブロックチェーンの利点を活かしつつ、現実世界のデータを取り込むことで、ユーザーに最適な価値を届けます。

7.4 将来的な拡張性と互換性

COINCOME プラットフォームは、将来的な拡張性と互換性を見据えた設計になっています。技術の進歩や市場の変化に柔軟に対応し、継続的な成長を実現します。

拡張性の面では、Polygon のレイヤー2 ソリューションの活用を検討しています。レイヤー2 は、Polygon のメインチェーンの上に構築される「オーバーレイネットワーク」で、高速かつ低コストなトランザクションを可能にします。具体的には、Optimistic Rollup や ZK-Rollup などの技術を適用することで、CIM トークンの転送やキャッシュバックの付与を大幅に効率化できると考えています。

また、将来的には、マルチチェーン展開も視野に入れていきます。Ethereum とのブリッジングやクロスチェーン swaps を実装することで、他のブロックチェーンネットワーク（Binance Smart Chain や Polygon など）上でも CIM トークンを利用可能にする計画です。これにより、ユーザーの選択肢が広がり、エコシステムの拡大が期待できます。

互換性の面では、広く普及している標準規格へ準拠することを重視しています。CIM トークンは ERC20 互換であり、主要なウォレットや DEX とのシームレスな連携が可能です。また、キャッシュバックデータの記録には ERC721 (NFT) 規格を採用することで、他のプラットフォームとのデータ交換を容易にします。

さらに、COINCOME では、新たな技術トレンドへの対応も積極的に行っていきます。例えば、ゼロ知識証明（Zero-Knowledge Proof）を活用したプライバシー保護機能の導入や、分散化ストレージ（Filecoin など）との連携など、ユーザーの利便性と安全性を高める施策を講じていく予定です。

COINCOME は、技術的な拡張性と互換性を追求することで、長期的な成長を可能にするプラットフォームを目指します。変化の速い Web3 の世界において、常に最先端の技術を取り入れ、ユーザーに最高の体験を提供し続けます。

8. ロードマップ

COINCOME は、明確なビジョンと戦略に基づいて、段階的な成長を遂げていきます。以下は、2024 年以降の主要なマイルストーンです。

8.1 2024 年 Q3 - 新トークンの再発行

- FTX 事件からの復興の第一歩として、新しい CIM トークンを再発行します。
- セキュリティ監査を経て、スマートコントラクトをデプロイします。

8.2 2025 年 Q1 - COINCOME プラットフォームの機能強化

- ユーザーインターフェースの刷新により、使い勝手を向上させます。
- ステータスプログラム（ステータス）の改良と、新たなインセンティブ設計を導入します。
- パートナー企業との連携を強化し、キャッシュバック対象の商品・サービスを拡大します。

8.3 2025 年 Q2 - 取引所との連携強化とグローバル展開

- 大手の中央集権型取引所での CIM トークン上場を目指します。
- グローバルな流動性の確保と、ユーザーベースの拡大を図ります。
- 海外パートナーとの提携を進め、キャッシュバックサービスの国際展開を加速させます。

8.4 2025 年 Q3 - デジタル ID プラットフォームとしての進化

- ユーザーのデジタル ID を活用した新サービスを導入します。
- 個人の信用力に基づく金融サービスや、パーソナライズされたオファーなどを提供します。
- パートナー企業とのデータ連携を深化させ、エコシステムの価値を高めます。

8.5 2025 年 Q4 - WEB3 エコシステムとの融合

- NFT や DeFi など、他の WEB3 プロジェクトとの連携を強化します。
- CIM トークンの活用シーンを拡大し、エコシステムの相乗効果を生み出します。
- クロスチェーン機能の実装により、マルチチェーン展開の基盤を整備します。

8.6 2026 年 Q2 - DAO 化の実現とコミュニティガバナンス

- CIM トークンホルダーによる分散型自律組織（DAO）を設立します。
- コミュニティ主導のガバナンスモデルを導入し、意思決定の分散化を図ります。
- トークンホルダーの投票による、プロジェクトの方向性の決定や、パートナーシップの承認などを実施します。

8.7 2026 年 Q4- 独自ブロックチェーンの開発

- COINCOME エコシステムの拡大に伴い、独自のブロックチェーンの開発に着手します。
- スケーラビリティと柔軟性を兼ね備えた、CIM トークンネイティブのチェーンを構築します。
- 他のブロックチェーンとのブリッジングにより、クロスチェーンでの CIM トークンの活用を推進します。

8.8 2027 年以降 - Web3 時代をリードするインフラの確立

- COINCOME は、キャッシュバックに留まらない、総合的な Web3 インフラへと進化します。
- ユーザーの日常生活のあらゆる場面で、CIM トークンが活用される世界を目指します。
- デジタルアイデンティティ、データ主権、価値の分散化など、Web3 の理想の実現に貢献します。

このロードマップは、COINCOME の長期的な成長の指針となるものです。一方で、急速に変化する Web3 の世界では、柔軟な適応力も求められます。COINCOME チームは、絶え間ない技術革新と市場動向の分析を行い、ロードマップをアップデートしていきます。

ステークホルダーの皆様には、このロードマップを通じて、COINCOME プロジェクトの将来のビジョンを共有いただければ幸いです。私たちは、このビジョンの実現に向けて、コミュニティと一丸となって邁進してまいります。

9. トークンセール

COINCOME では、CIM トークンの再発行に伴い、トークンセールを上場後に実施します。このセールを通じて、エコシステムの拡大と発展に必要な資金を調達するとともに、CIM トークンの分散化と流動性の向上を図ります。

9.1 セールの目的と概要

トークンセールの主な目的は以下の通りです：

FTX 事件からの復興とエコシステムの再生に必要な資金の確保
CIM トークンの分散化の促進と、コミュニティガバナンスの基盤づくり
グローバル展開と新機能開発のための資金調達
パートナーシップの拡大と、マーケティング活動の強化

セールは、セカンダリートークンセール（Secondary Token Sale）という形式で実施される予定です。COINCOME では、STS を以下の条件で実施する予定です。

実施時期：2025 年 1 月

販売価格：上場価格から割引適用

上場価格：上場時の価格を基準とする

目標調達額：5 億円（約 320 万米ドル）

9.2 調達資金の使途と配分

トークンセールで調達された資金は、以下のような用途に充当される予定です：

- 40% - 技術開発とプラットフォームの機能強化
- 20% - マーケティングとユーザー獲得
- 15% - パートナーシップの拡大と業務提携
- 10% - 法務・コンプライアンス対応
- 10% - 運営経費と人材採用
- 5% - 予備費

これらの資金配分は、プロジェクトの進捗状況や市場環境の変化に応じて、適宜見直しを行います。

9.3 セール日程と STS 情報

STS の実施スケジュールは以下の通りです：

STS 実施期間：2025 年 1 月 24 日～3 月 31 日（予定）

参加方法：COINCOME の公式ウェブサイトまたは指定の取引所から申し込み

KYC/AML の実施：参加には本人確認と資金源の確認が必要

STS への参加を希望される方は、COINCOME の公式ウェブサイトまたは指定の取引所から申し込みを行ってください。参加には KYC（本人確認）と AML（マネーロンダリング防止）の手続きが必要となります。

9.4 参加方法と KYC/AML プロセス

トークンセールへの参加方法は、以下の手順となります：

1. COINCOME の公式ウェブサイトまたは指定の取引所にアクセスし、トークンセールへの申し込みを行う。
2. KYC/AML の手続きに必要な情報（氏名、住所、身分証明書など）を提出する。
3. KYC/AML の審査に合格した後、トークン購入に必要な情報（ウォレットアドレスなど）を登録する。
4. 指定の方法で購入代金を支払う。
5. 購入したトークンを、登録したウォレットアドレスで受け取る。

KYC/AML の手続きは、投資家の皆様の安全とプロジェクトの健全性を守るために不可欠なプロセスです。COINCOME では、国際的な規制基準に準拠した厳格な審査を行います。個人情報の取り扱いには細心の注意を払い、プライバシーの保護に全力で取り組みます。

9.5 ロックアップとベスティング

STS で購入された CIM トークンには、価格の安定性を保つためのロックアップ期間は設定されません。

トークンの保有については、チームやアドバイザーではなく、COINCOME の会社であるメーカーズファーム（Makers Farm）のみとし、個人には割り当てません。これにより、トークンの公正な管理とプロジェクトの透明性が保証されます。

トークンセールに関する詳細は、COINCOME の公式ウェブサイトや公式チャンネルを通じて、随時アップデートしてまいります。ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

10. チームとアドバイザー



金光 善浩

Founder

元リアルワールド（TYO: 3691 / 現 デジタルプラス） - 取締役, 元フォーランドフォレックス（現 楽天証券）



東本 和人

CFO

バレットグループ CFO, 元リアルワールド（TYO: 3691 / 現 デジタルプラス） - 取締役, 元マクロミル（TYO: 3978）, 元カブコン（TYO: 9697）, 元ユナイテッド（TYO: 2497） - 執行役



タイレルシステムズ

Product

永久不滅.com（セゾンポイントモール）,
TREASURE DATA 開発



濱田 光貴

パートナー&アドバイザー
Bonds Investment Group - プリンシパル



森 和孝

Makers Farm Japan 監査役
法律事務所「ONE ASIA LAWYERS」- 弁護士

10.1 コアメンバーの紹介と経歴

金光 善浩 (Founder)

1982 年生まれ。2007 年にフォーランドフォレックス株式会社（現：楽天証券株式会社）入社。マーケティング、金融商品開発に従事した後、2011 年株式会社リアルワールド（現：株式会社デジタルプラス）に入社。

B to C, B to B to C のスマートフォンアプリ、広告、ポイント、MVNO、複数の大手事業会社との JV 事業責任者を経て、事業現場統括として同社の東証マザーズ（現：東証グロース市場）上場を経験。2015 年 12 月に取締役役に就任。2016 年 3 月よりアドテク領域グループ会社、2016 年 4 月よりフィンテック領域グループ会社の取締役を歴任。

2018 年 5 月に COINCOME プロジェクトを立ち上げ、総合プロデューサー兼ディレクターを担当。その他ホワイトペーパー執筆、事業開発、戦略立案、トークン設計など、複数のスタートアップ、大手日系 Web3 プロジェクトの支援を行う。

タイレルシステムズ（プロダクト開発）

金融、フィンテック、クリプトからゲーム、エンターテインメント、またはビッグデータまで国内の幅広いプロジェクト、事業の開発を請け負う。COINCOME プロジェクトでは立ち上げからキャッシュバック（ポイ活）サービス、ウォレットアプリの開発を担当。

10.2 アドバイザリーボードの役割と専門性

濱田 光貴（パートナー）

Bond Investment Group 株式会社（旧：株式会社オプトベンチャーズ）のパートナーとして、COINCOME プロジェクトの立ち上げから主にグローバルでのアライアンス支援を行う。

森 和孝（弁護士）

One Asia Lawyers の弁護士として、暗号資産市場の黎明期から数多くの国内外 Web3 プロジェクトの顧問弁護士を担当。COINCOME プロジェクトでは日本法人の社外監査役を担当。

10.3 チームの強みとプロジェクトへのコミットメント

COINCOME のチームは、以下のような強みを持っています：

- キャッシュバックとブロックチェーンの両分野での豊富な専門知識と経験
- 大手企業での事業戦略立案や経営に携わったメンバーによる戦略的思考力
- グローバルな人材ネットワークと、多様なバックグラウンドを持つメンバー構成
- Web3 の可能性を信じ、長期的なビジョンの実現に邁進するコミットメント

私たちは「One Team」の精神のもと、チームワークを大切にしながら、プロジェクトの成功に向けて日々尽力しています。

10.4 ガバナンス体制とリスク管理方針

COINCOME では、透明性の高いガバナンス体制とリスク管理を重視しています。

ガバナンス面では、重要な意思決定をコミュニティとともに行うことを基本方針としています。CIM トークンホルダーは、ガバナンスへの参加権を持ち、提案の提出や投票を通じて、プロジェクトの方向性を決定していきます。また、定期的な報告会や情報開示を通じて、運営の透明性を保ちます。

リスク管理面では、サイバーセキュリティと法令遵守を最優先事項としています。スマートコントラクトの監査や、ペネトレーションテストを定期的実施し、脆弱性を排除します。また、各国の規制当局との対話を通じて、必要なライセンスの取得と法令遵守に努めます。

また、COINCOME では、リスクシナリオ分析とコンティンジェンシープランの策定にも注力しています。想定される様々なリスク（市場リスク、規制リスク、サイバー攻撃など）に対して、具体的な対応策を準備することで、不測の事態に備えます。

チームとアドバイザーの強力なサポートのもと、COINCOME は、透明で信頼されるプロジェクトを目指します。私たちは、ステークホルダーの皆様とともに、Web3 の未来を切り拓いていきたいと考えています。

11. 主要なリスク要因

COINCOME プロジェクトは、多くの可能性を秘めている一方で、いくつかのリスク要因を考慮する必要があります。本セクションでは、主要なリスクとその対策について説明します。

11.1 規制環境の変化とコンプライアンスリスク

暗号資産に関する規制環境は、世界的に不確実性が高く、急速に変化しています。各国の規制当局の方針転換や、新たな法規制の導入などにより、COINCOME の事業運営に影響が生じるリスクがあります。

対策：COINCOME は、各国の規制動向を注視し、必要なライセンスの取得と法令遵守に努めます。専門の法務アドバイザーを起用し、規制リスクの予見と対応を行います。また、分散化の進展により、特定の国の規制変更の影響を最小限に抑えます。

11.2 競合他社の参入と市場リスク

キャッシュバック市場には、既存の大手プレイヤーに加え、新たな Web3 プロジェクトの参入が予想されます。競争の激化により、COINCOME のマーケットシェアや収益性が圧迫されるリスクがあります。

対策：COINCOME は、独自のブロックチェーン技術と強力なパートナーシップにより、競合優位性を維持します。ユーザー中心の設計思想と、継続的なイノベーションにより、市場での差別化を図ります。

11.3 技術的脆弱性とセキュリティリスク

スマートコントラクトやブロックチェーンシステムには、潜在的な脆弱性が存在する可能性があります。ハッキングや攻撃により、ユーザーの資産が損失したり、プラットフォームの信頼性が損なわれたりするリスクがあります。

対策：COINCOME は、外部監査の徹底とセキュリティ対策の多層化により、技術的リスクを最小化します。定期的な脆弱性診断と、インシデントレスポンス体制の整備を行います。また、バグバウンティプログラムを実施し、ホワイトハッカーとの協力によりセキュリティを強化します。

11.4 流動性とボラティリティのリスク

CIM トークンの流動性が低下したり、価格が大きく変動したりすることで、ユーザーや投資家に損失が生じるリスクがあります。市場の需給バランスの変化や、他の暗号資産の価格変動の影響を受ける可能性があります。

対策：COINCOME は、大手取引所への上場と、DEX での流動性供給により、CIM トークンの流動性を確保します。また、トークンエコノミーの適切な設計と、インセンティブ制度の運用により、価格の安定性を高めます。ステーキングによるロックアップ効果も、ボラティリティの抑制に寄与します。

これらのリスクは、COINCOME に限らず、多くの Web3 プロジェクトに共通するものです。私たちは、リスクを正しく認識し、それぞれに適切な対策を講じることで、プロジェクトの健全性を維持してまいります。

また、COINCOME では、リスクマネジメント体制の継続的な改善にも取り組んでいます。新たなリスクの発見や、ベストプラクティスの取り入れなどを通じて、より強靱なプロジェクトを目指します。

リスク要因については、投資家の皆様にもご理解いただくことが重要です。COINCOME は、透明性の高い情報開示を通じて、リスクに関する認識の共有を図ってまいります。

12. 免責事項

本ホワイトペーパーに記載された情報は、COINCOME プロジェクトに関する現時点での見解を示すものであり、将来の見通しや計画を含んでいます。これらの情報は、あくまでも予測であり、確約されたものではありません。

12.1 投資リスクと自己責任原則

CIM トークンへの投資は、投資家自身の判断と責任で行われるべきものです。暗号資産への投資には、価格変動リスクやプロジェクトの失敗リスクなど、様々な不確実性が伴います。投資家は、自己の投資判断に基づいて行動し、その結果について自己責任を負うものとします。

12.2 将来見通しに関する不確実性

本ホワイトペーパーに記載された将来の計画や戦略は、現時点での想定に基づくものであり、その実現を保証するものではありません。事業環境の変化や、技術的な課題の発生などにより、計画の修正や遅延が生じる可能性があります。

12.3 法的免責事項と投資家保護

本ホワイトペーパーは、投資の勧誘を目的としたものではありません。CIM トークンは、証券や金融商品に該当せず、投資利益の保証や元本の保護を意図するものではありません。また、本ホワイトペーパーは、法的な契約や合意を構成するものではありません。

※COINCOME トークン（CIM）は、現在日本居住者、日本所在法人には販売しておりません

COINCOME は、本ホワイトペーパーの内容に関して、明示的または黙示的を問わず、いかなる表明や保証も行いません。本ホワイトペーパーの使用によって生じた損害や損失について、COINCOME は一切の責任を負いません。

投資家の皆様には、本免責事項をよくお読みいただき、投資に関する判断は慎重に行っていただきますようお願いいたします。不明な点がございましたら、法律や財務の専門家にご相談ください。

13. 結論

13.1 COINCOME の長期ビジョンと社会的意義

COINCOME は、キャッシュバックという身近な経済活動を起点に、Web3 の理念である分散化と透明性を体現するプロジェクトです。私たちのビジョンは、ユーザーを中心とした新しい経済圏を創造し、より多くの人々に経済的な恩恵をもたらすことです。

COINCOME の取り組みは、単なるキャッシュバックサービスの向上にとどまりません。ブロックチェーン技術を活用することで、データの所有権や価値の分配における公平性を実現し、個人の経済的エンパワーメントに貢献します。また、CIM トークンを通じて、プロジェクトの意思決定に参加する機会を提供し、真の意味での分散型コミュニティを育んでいきます。

さらに、COINCOME は、企業と消費者の関係性を、よりフェアで互恵的なものへと導きます。透明性の高い経済活動を促進し、信頼に基づいた持続可能な取引環境の構築を目指します。

COINCOME の長期的なビジョンは、Web3 時代における経済インフラとしての役割を果たすことです。CIM トークンが、人々の日常的な経済活動に深く浸透し、新しい価値の創出と交換を可能にする世界の実現を目指します。

13.2 プロジェクトの実現可能性と将来性

COINCOME は、単なる構想ではなく、すで実績のあるキャッシュバックサービスを基盤としています。Makers Farm が運営する「COINCOME」は、10 万人以上のユーザーベースを有し、着実な成長を遂げてきました。この強固な基盤の上に、Web3 の要素を取り入れることで、COINCOME は高い実現可能性を持っていると言えます。

また、COINCOME は、明確なロードマップに基づいて、段階的な成長を図っています。技術開発、マーケティング、パートナーシップ、コミュニティ形成など、様々な側面から事業を推進していくことで、持続的な発展を目指します。

Web3 の潮流は、今後ますます加速していくことが予想されます。ブロックチェーン技術の成熟と、規制環境の整備が進むにつれ、COINCOME のようなプロジェクトが、経済の中心的な役割を担う可能性は大きいと考えられます。私たちは、この大きな時代の変化を先取りし、Web3 時代のリーディングプロジェクトとなることを目指します。

13.3 ステークホルダーへの期待とメッセージ

COINCOME は、ユーザー、投資家、パートナー企業など、多様なステークホルダーに支えられています。私たちは、皆様の期待に応えるべく、プロジェクトの成功に全力で取り組んでまいります。

ユーザーの皆様には、COINCOME をお買い物やサービス利用の機会に活用いただき、お得で便利なキャッシュバック体験をお楽しみいただければ幸いです。また、CIM トークンを通じて、エコシステムの成長と意思決定に参加していただくことを願っています。

投資家の皆様には、COINCOME のビジョンと将来性をご評価いただき、中長期的な視点でプロジェクトをサポートしていただきたいと考えています。私たちは、透明性の高い情報開示と、健全なプロジェクト運営により、皆様の信頼に応えてまいります。

パートナー企業の皆様には、COINCOME との協業を通じて、Web3 時代の新たなユーザー体験の創造と、ビジネスの可能性の拡大を目指していただければと思います。私たちは、Win-Win の関係を築き、共に成長していくことを望んでいます。

COINCOME は、ステークホルダーの皆様とともに、新しい経済の在り方を切り拓いていく挑戦の旅にあります。一人ひとりのご支援と、活発な対話を通じて、エコシステムを発展させていければと考えています。

13.4 問い合わせ先と追加情報の入手方法

COINCOME についてご不明な点がございましたら、以下の公式チャンネルからお問い合わせください。

- 公式ウェブサイト： <https://coincome.io>
- 公式 Twitter： https://twitter.com/cimcome_japan
- 公式 Telegram： <https://t.me/s/cimcome>

また、最新情報やプロジェクトの進捗状況については、以下のチャンネルで発信しています。

- 公式ブログ： <https://blog.cimcome.io/ja/>

コミュニティの皆様とのコミュニケーションを大切にしながら、COINCOME プロジェクトを推進してまいりますので、引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。

最後に、COINCOME ホワイトペーパーをお読みいただき、誠にありがとうございました。

本ホワイトペーパーは、COINCOME プロジェクトの全体像と将来のビジョンを皆様にお伝えすることを目的としています。私たちのミッションは、キャッシュバック経済にイノベーションをもたらし、Web3 時代の新しい価値創造のあり方を提示することです。

COINCOME は、FTX 事件という逆境を乗り越え、より強靱なプロジェクトとして歩みを進めています。次なるステージに向けて、CIM トークンの再発行と、エコシステムの再構築に全力で取り組んでまいります。

皆様におかれましては、COINCOME の挑戦にご期待いただくとともに、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。私たちは、ステークホルダーの皆様とともに、キャッシュバックの未来を切り拓いていくことを心より楽しみにしています。

今後とも、COINCOME プロジェクトをよろしくお願いいたします。